

進路だより



《入試の持ち物》 冬休み中に準備できるものは用意しましょう

○筆記用具

ア. 鉛筆 3 ～ 4 本 … シャープでもよいが故障したときの予備が必要。

マークシート方式の場合は、シャープより便利。

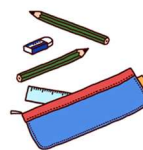
イ. 消しゴム (2 個) … 落とした時の予備。

ウ. 鉛筆削り

エ. コンパス

オ. 三角定規 (分度器機能の付いていないもの 2 枚まで)

カ. 定規 (15 ～ 20 cm くらい)



○時計 … 入試会場に時計がない場合もある。ただし、計算機や辞書機能のついたものは禁止。腕時計が望ましい。(目覚まし時計は持ち込まない。)

○服装の確認 (ボタン・名札・棒タイ・Yシャツ) 悪天候の場合、替えの靴下を持つとよい。また、高校からのプリントを参考にしながら、防寒対策を行うこと。

(公立高校では文字の入っていない上着の着用やひざかけの使用は可)

*道内の公立高校入試においては、携帯電話 (スマートフォンを含む)・計算機 (時計型、ペンシル型を含む)・辞書機能付時計、ウェアラブル端末 (スマートウォッチを含む) など、学力検査の公正を損なうおそれのあるものの持ち込みは認められていませんので、絶対に持っていないでください。また、漢字や英単語が書いてある文房具 など学力検査の公正を損なうおそれのあるものは、持ち込めないで気を付けましょう。

※持ち物や服装については、各高校側の判断になります。ある学校では許可されているものが、別の学校では禁止されている場合もあります。募集要項等をよく確認して準備してください。

《受験会場への行き方》 冬休み中に考えておきましょう

入試は平日に行われますので、実際の時間に公共の交通機関で移動して時間を確認したい場合は、冬休み中がおすすめです。公立高校は、前日の受験会場 (校舎) の公開はしませんが、校舎の前まで行くことは可能です。また、校舎とは別会場で入試が実施される私立高校もあります。募集要項をよく確認しておきましょう。

2学期も終わり、みなさんにとっては勝負の冬休みとなります。今やるべきことをしっかりと見極め、1日1日を大切に過ごしてください。



《充実した冬休みを》

◇生活のリズムを整える

入試は、午前9時台に始まります。(ちなみに公立高校の入試の1時間目は国語。9時20分～10時15分です。)脳が活発に活動を始めるところには、起床から3時間ほどかかるといわれています。冬休み中であっても6時には起きるといいでしょう。

また、寝不足の眠い頭では集中が続かず、しっかりと考えることもできません。睡眠時間を確保するためにも、無駄な時間は削り、しっかりと勉強して、12時頃には就寝しましょう。

◇学年末テストにおける勉強と受験勉強を両立させる

学年末テストは、1月15日(木)16日(金)に行われますので、冬休み中にテスト勉強を計画的に進めておかななくてはなりません。また、冬休みは受験勉強にも取り組まなければならない、両立が必要です。偏りがないように学習しましょう。

◇健康第一

食事や睡眠、適度な気分転換など、自分で意識して健康的に過ごしましょう。「手洗い」は大切です。体調を崩さないように予防する意識をもちましょう。

《私立願書(2月受験)》 提出は1月20日(火)まで

Web出願の私立高校については、各学校のホームページやマニュアル等を参考に入力方法を確認して進めてください。なお、受験料を納入すると訂正できない学校がほとんどですので、保護者の方にも確認してもらいましょう。なお、Web出願(入力)後の願書の訂正は、本人または保護者が私立高校に電話連絡をして登録の訂正を行うことになります。

一般入試(2月受験)の願書(Web出願でプリントアウトした願書等)の提出は1月20日(火)までです。